

令和2年中の交通事故死者数について

(「日刊警察」令和3年1月8日号から)

警察庁のまとめによると、令和2年中の全国の交通事故死者(24時間以内)数は2,839人で、前年に比べ376人(11.7%)減少した。昭和23(1948)年に統計を取り始めて4年連続で減少し、初の2千人台となった。このうち高齢者の死者数は1,596人で、前年に比べ186人(10.4%)減少したが、全死者の56.2%を占めている。交通事故発生件数は309,000件、負傷者数は368,601人で、いずれも減少した。人口10万人当たりの死者数は2.25人で、そのうち高齢者は4.45人であった。1日当たりの死者数は7.8人だった。

警察庁は「新型コロナ禍が死者数の減少にどう影響したかは一概には言えないが、何らかの影響があった可能性はあり、今後分析していく」と述べているようである。

■ 月別死者数

1月:262人(前年比3人、1.1%減)、2月:247人(同37人、17.6%増)、3月:239人(同22人、8.4%減)、4月:213人(同53人、19.9%減)、5月:194人(同16人、7.6%減)、6月:202人(同4人、1.9%減)、7月:191人(同38人、16.6%減)、8月:197人(同81人、29.1%減)、9月:243人(同50人、17.1%減)、10月:273人(同40人、12.8%減)、11月:280人(同48人、14.6%減)、12月:298人(同58人、16.3%減)であり、2月を除いて減少した。

■ 全国の死者数

全国の死者数を多い順に並べた。東京都は53年ぶりのワーストだそうである。黄色で塗りつぶした都県は、前年よりも増加したところである。

順位	都道府県名	令和2年	対前年	順位	都道府県名	令和2年	対前年	順位	都道府県名	令和2年	対前年	順位	都道府県名	令和2年	対前年
1	東京	155	22	13	広島	71	-4	23	長野	46	-19	37	佐賀	33	-1
2	愛知	154	-2	14	新潟	64	-29	26	群馬	45	-16	38	山形	30	-2
3	北海道	144	-8	15	岡山	62	-13	27	宮城	44	-21	39	青森	28	-9
4	神奈川	140	8	16	栃木	60	-22	28	大分	43	2	40	富山	26	-8
5	千葉	128	-44	17	香川	59	12	28	岐阜	43	-41	41	奈良	25	-9
6	大阪	124	-6	18	福島	57	-4	30	山口	42	-3	42	沖縄	22	-14
7	埼玉	121	-8	19	鹿児島	53	-8	31	福井	41	10	43	山梨	21	-4
8	兵庫	110	-28	20	京都	49	-6	32	石川	40	9	44	徳島	20	-21
9	静岡	108	7	20	滋賀	49	-8	33	秋田	37	-3	45	島根	18	-7
10	福岡	91	-7	22	愛媛	48	6	34	宮崎	36	-3	45	和歌山	18	-15
11	茨城	84	-23	23	岩手	46	1	35	高知	34	1	47	鳥取	17	-14
12	三重	73	-2	23	熊本	46	-23	35	長崎	34	1				

以上